

広報
あかいけ

59年

7月

No.258

発行所 赤池町役場 編集 総務課 文書広報係 ☎(代表) 2004
 印刷所 赤池印刷 毎月 1回発行



【上野、板取で】

(とじて保存してください)

納涼

昔の人々は納涼の行事をいろいろ工夫しました。水辺に出て涼風を求めたり、納涼船を出して楽しんだものです。

江戸時代、京都四条河原では、流れの上に腰掛けをしつらえ、そこに座って足を水にひたしたものでした。

そのほかにも平安貴族が炎暑の候に詩歌の会を催すのも暑さを忘れる行事だったようですし、江戸に流行した夏の夜の怪談囃や胆だめしも涼味を味わうためでした。

最近では自然回帰が注目されはじめ、森林浴やジョギングでいい汗を、という人も増え、家ではクーラーということで“納涼”などという風流な言葉は忘れられようとしています。

いい汗といえば、6月19日町内四保育所の5歳児134人がどろんこになりながらいっしょうけんめい“田植え”を体験しました。

ひざ上までどろにつかり、中には尻もちをつきながら1,300㎡の田んぼを2時間で植えました。

秋には、みんなで収穫し、もちつきをして一連の体験学習を終わります。

7月は 固定資産税2期分 国民年金1期分 の納税月です。